

今週の株式相場見通し

- * 日経平均 39,400~41,500円 TOPIX 2,700~2,850
- * 期待材料 新年度入りに伴う資金流入期待 外国人の買い 円安による増益期待
- * 不安材料 米国の利下げ時期の後退 中東・ロシア情勢を背景としたエネルギー費上昇

【**個人中心に配当・優待権利取りの動き**】先週は27日水曜日が3月期決算企業の配当・優待権利付き最終売買日だったこともあり、権利取りの動きや、期末のポジション調整の影響が大きい週だった。配当・優待の権利落ちがある企業へは、新NISA経由の個人投資家の買いが増加するとの期待が高かった。日経平均の構成銘柄から配当利回りが高い銘柄を抽出した日経平均高配当株50指数は3月13日から27日にかけて5.8%の上昇となり、同期間の日経平均やTOPIXの上昇率を上回った。権利付き最終売買日を過ぎたことで、高配当銘柄への物色は一服すると思われるが、株主還元強化を背景に高配当株への期待は今後も継続するものと思われる。

【**この一年でPBR1倍超えが大きく増加**】東証が2023年3月にPBRの低い上場企業に対し資本コストや株価を意識した経営への改善を要請して以来、この1年で日本株のPBR改善は大きく進んだ。23年3月末に28,041円だった日経平均は、3月27日時点で40,762円と史上最高値を更新し、45%以上の上昇となった。株高を反映し、日経平均採用225銘柄でPBR1倍を超えたのは147社と23年3月の107社から大きく増加。東証プライム市場上場銘柄でも845社から1,016社へと増加した。しかし、PBR1倍超えのプライム市場全体に占める割合は61.6%と、まだ改善余地がある企業は多い。スタンダード市場では1倍を超える企業は全体の44.4%と半分を割り込む。成長性や事業の強みをアピールするIR強化、政策保有株式の売却などガバナンスの強化、自社株買いなどの株主還元の強化を通じたPBR改善は、今後も市場から要求されると思われ、大型株中心の物色が中小型株へと横に広がっていくことを期待したい。

【**新年度入りの好需給期待**】海外投資家の売買動向には季節性があり、例年4月は大きく買い越す傾向がある。明確な理由は不明のためアノマリー（継続に観測される規則性）と言われていたが、今年も買い需要が期待される。また、一般的に国内の機関投資家は決算対策で3月末にかけて株を売却し、その反動で4月は買いに転じやすいとされており、1年を通じても買い需要の強い月とされている。米国の金融政策や、為替介入の有無などの不確定要因はあるが、需給面では継続的な上昇が期待される週となりそうだ。(3月28日現在、志田 憲太郎)

今週の予定

	国内	海外
4/1(月)	日銀短観(8:50) 日経平均銘柄入れ替え	[中] 3月財新製造業PMI(10:45) [米] 3月ISM製造業景況指数(23:00)
2(火)	3月マネタリーベース(8:50)	[独] 3月消費者物価指数速報値(21:00)
3(水)	決算:ワールド(3612)、西松屋チェーン(7545)など 中部電力子会社の中電不動産、商業施設「iiNE マルシェ」開業	[中] 3月財新サービス業PMI(10:45) [欧] 3月消費者物価指数速報値(18:00) [米] 3月ADP雇用統計(21:15) [米] 3月ISM非製造業景況指数(23:00)
4(木)	決算:不二越(6474)など	[香港] 休場
5(金)	決算:安川電機(6506)など 自動車・F1第4戦日本GP(~7日)	[米] 3月雇用統計(21:30) [米] がん研究協会年次会議(~10日)
6(土)	CYCLE MODE TOKYO 2024(~7日)	開発と平和のためのスポーツの国際デー
7(日)	競馬・桜花賞	世界保健デー

出所はロイター、ブルームバーグ、新聞各紙等より、時刻は日本時間(予定)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

今週の参考銘柄 **やまみ (2820)** 東証スタンダード



22年6月期 (百万円)		23年6月期 (百万円)		24年6月期(予) (百万円)		株価(3/28)	3,650 円
	前年比		前年比		前年比	業種	食料品
売上高	13,811	16,178	17.1%	19,000	17.4%	時価総額	254 億円
営業利益	902	1,039	15.2%	2,000	92.5%	PER(予想)	19.00 倍
経常利益	903	1,061	17.5%	2,002	88.7%	PBR(実績)	2.80 倍
当期純利益	606	802	32.3%	1,337	66.7%	ROE(実績)	10.05 %
EPS(円)	87.06	115.18		191.89		配当利回り(予想)	1.64 %
配当金(円)	26	32		60		担当	松本 直志

(注)22年6月期から「収益認識に関する会計基準」等を適用している為、22年6月期売上高の前年比は記載なし 出所:業績に関する数値は決算短信より

【豆腐や厚揚げ、油揚げなどを生産】 広島の本社工場、滋賀の関西工場、静岡の富士山麓工場の3つの自社工場で、豆腐や厚揚げ、油揚げなどを生産し、スーパーやコンビニ、外食業界向けに販売。広島県に本社工場があるため、中国地方での販売量が多いが、19年に新設した富士山麓工場を活用し、関東地方での販売を強化している。最新鋭の大型製造設備を導入し、製造ラインの自動化を積極的に進めており、大量生産による価格競争力の高さが強み。自動化により無菌状態で製造から梱包まで行うことで、消費期限の長期化も実現している。豆腐や油揚げなど豆腐市場の規模は、人口減少下でも健康志向の高まりを下支えに横ばいで推移しているが、大型チェーン店のコストダウン要求や原材料高などにより、小規模の事業者の廃業が増加。大手メーカーへの集約が進んでおり、16年6月の株式上場以降、同社の売上は毎年拡大している。

【通期計画を上方修正】 24年6月期2Q累計(7-12月)決算は前年同期比22.1%増収、営業利益は2.5倍に増加し売上、営業利益ともに過去最高を更新した。充填豆腐8P・4P、厚揚げ4枚など高付加価値品の販売増や価格改定、スーパーや外食、ディスカウントストアなど関東圏での新規顧客開拓、富士山麓工場の稼働率向上に伴う生産性の改善などが貢献し、通期計画を上方修正。材料費、光熱費上昇を想定しているため下期の計画は慎重に想定しているが、事業環境に大きな変化はなくシェアアップが期待できる状況にあり、さらなる上振れ着地が期待される。

【中長期的な業績拡大を期待】 足元の好調な業績推移を反映し、中期経営計画を上方修正。26年6月期の売上計画を215億円から230億円へ、営業利益を18.5億円から27.6億円へ引き上げた。大手小売りに対応できる、安くて良い商品を大量かつ安全に供給できる業者として、同社に対する引き合いは今後も旺盛に推移することが見込まれる。富士山麓工場の稼働率は4割にとどまり増産余力が高く、顧客の引き合いに合わせて設備投資を進める方針を示しており、来期以降も業績拡大局面が続くことが期待される。

説明会より

銘柄 (コード) 市場 株価(3/28)	コメント
鳥貴族 HD (3193) 東証プライム 4,725 円	24年7月期2Q累計(8-1月)決算は、前年同期比31.3%増収、営業利益は4.6倍。コロナ禍からの回復が進む中、特に2Q(11-1月)は競合居酒屋の撤退もあり忘新年会需要の回復が想定を上回って推移。また、エネルギーコスト上昇の一服や採算管理の徹底により販管費抑制も進展し、計画を大幅に上回る営業利益で着地。通期は、売上高については上期の上振れと足元の既存店推移を反映させ、費用面では上期の販管費下振れなどを織り込んだうえで、22.6%増収、営業利益2.1倍計画に上方修正。(多功 毅)
丸千代山岡家 (3399) 東証 スタンダード 7,410 円	24年1月期通期決算は前年同期比で41.9%増収、営業利益は4倍。既存店売上高が36.7%増(客数32.5%増、客単価は4月、10月の二度の値上げも寄与し3.2%増)と好調に推移している。会社側は既存店増収の要因を、人流回復、ライフスタイル変化によるロードサイドの昼間人口の増加、他外食企業の夜間営業廃止増に伴う顧客取り込み、SNSやYouTube露出の増加と分析。今期は既存店売上高10%増を前提に13.2%増収、10.5%営業増益を計画。(多功 毅)
サムコ (6387) 東証プライム 4,940 円	半導体レーザーやLED、パワー半導体などで使われる化合物半導体向け薄膜形成装置やエッチング装置、洗浄装置などを展開。24年7月期2Q累計(8-1月)決算は前年同期比6.7%増収、5.1%営業増益。会社計画に対して未達となったが、半導体レーザーや高周波デバイス向けにエッチング装置の販売が増加し、売上、営業利益ともに4期連続で過去最高を更新した。受注は1Q(8-10月)で底を打ち、2Q(11-1月)から回復局面入り。化合物半導体向けの好調継続、電子部品向けの回復を想定し通期計画は据え置いている。(松本 直志)
マネジмент ソリューションズ (7033) 東証プライム 2,112 円	DXや新規事業など様々なプロジェクトの実行を支援するコンサルティング事業を展開。24年12月期1Q(11-1月:決算期変更)決算は前年同期比18.2%増収、38.2%営業増益となり、会社計画並みで順調に推移した。季節的に顧客のプロジェクトが閑散期となるが、DXプロジェクトの実行支援など顧客からの引き合いは良好。需要増に対応するためコンサルタントを増員し、コンサルタントの平均単価も上昇した。営業を強化、さらなる案件獲得に取り組む方針。(松本 直志)
川崎汽船 (9107) 東証プライム 2,032.5 円	コンテナ船子会社 ONE の事業説明会を開催。温室効果ガス排出実質ゼロを目指すグリーン戦略、オペレーションのデジタル化、DX業界と連携などのデジタル戦略、従業員の能力開発などのタレント戦略、強固な財務戦略、グローバル戦略の5つを柱とする成長戦略を策定。24年度の具体的な数値見通しの発表はなかったが、2030年度に38億ドルの利益達成を目指すとした。資本政策は、中長期的にROE10%以上の達成に沿って実行する。(志田 憲太郎)
JAL (9201) 東証プライム 2,871.0 円	中期経営計画ローリングプラン2024説明会を開催。中期経営計画の3年間で終了し、コロナが収束した新たな環境における残り2年について策定した。新計画では、26年3月期目標をEBIT1,850億円から2,000億円に引き上げた。新たに42機の新型機導入を決定、2030年にフルサービス、LCCの事業規模を1.4倍に拡大、競争力強化により単価を維持する。また、回復を想定するアウトバウンド(日本発需要)の獲得を目指す。航空旅客事業に加え、マイル/金融事業の事業規模・利益の拡大も目指すとしている。(志田 憲太郎)

いつもあなたのそばで 頼れる金融機関です

やまわ

山和証券店舗網

本店営業部	(03) 3668-5412	〒103-0026	中央区日本橋兜町 1-8
金町支店	(03) 3600-6681	〒125-0041	葛飾区東金町 1-22-9
高円寺支店	(03) 3311-1171	〒166-0003	杉並区高円寺南 3-58-25
大岡山支店	(03) 5754-5523	〒145-0062	大田区北千束 3-28-1 パークホームズ大岡山ラヴィアンコート 1F
巢鴨支店	(03) 3918-6311	〒170-0002	豊島区巢鴨 3-33-2
上板橋支店	(03) 3935-0311	〒174-0071	板橋区常盤台 4-22-12
深川支店	(03) 5600-7891	〒135-0005	江東区高橋 11-1
茂原支店	(0475) 25-1151	〒297-0023	茂原市千代田町 1-6 茂原サンヴェルプラザ 1F



○金融商品取引法に基づく表示事項

◇商号：山和証券株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第190号

加入協会：日本証券業協会

◇ご投資にかかる手数料の概要およびリスクについて

- ・国内上場株式等を購入する場合は、約定代金に対して最大1.1990% (ただし約定代金230,000円以下の場合は最大2,750円)の委託手数料をいただきます。
- ・国内上場株式等は、価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行会社の信用状況の悪化等により投資元本を割り込むおそれがあります。商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので当該商品の契約締結前交付書面をよくお読みください。

○山和証券免責事項

- ・本アナリストレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断と責任でおねがいします。
- ・本アナリストレポートの全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

発行 山和証券調査室